

令和8年度
全国がん登録実務者研修会

兵庫県がん登録室からの お知らせ

～届出システム・制度編～

兵庫県がん登録室
(公益財団法人兵庫県健康財団内)

目 次

- 1 令和 8 年度の届出期限について
- 2 がん登録オンラインシステム(GTOL)機能改修
- 3 被保険者番号の収集について 【2027年症例～】
- 4 UICC TNM分類の収集について 【2028年症例～】
- 5 ICD-O-4版の導入について 【2029年症例～】
- 6 がん登録のルール変更について 【2026・2027年症例～】
(全国がん登録関連)
- 7 各種マニュアルの改訂
- 8 全国がん登録 研修動画の公開について
- 9 届出に関する参考資料
- 10 全国がん登録情報の提供について (法20条関係)

1 令和8年度の届出期限について

厚生労働省・国立がん研究センターでは、全国がん登録データの早期確定・早期公表の実現を目指し、全国がん登録に係る各業務について、スケジュールの早期化が検討されています。

これに備えて、当室におきましても、今年度から各医療機関からの届出時期を1ヶ月早期化することといたしました。

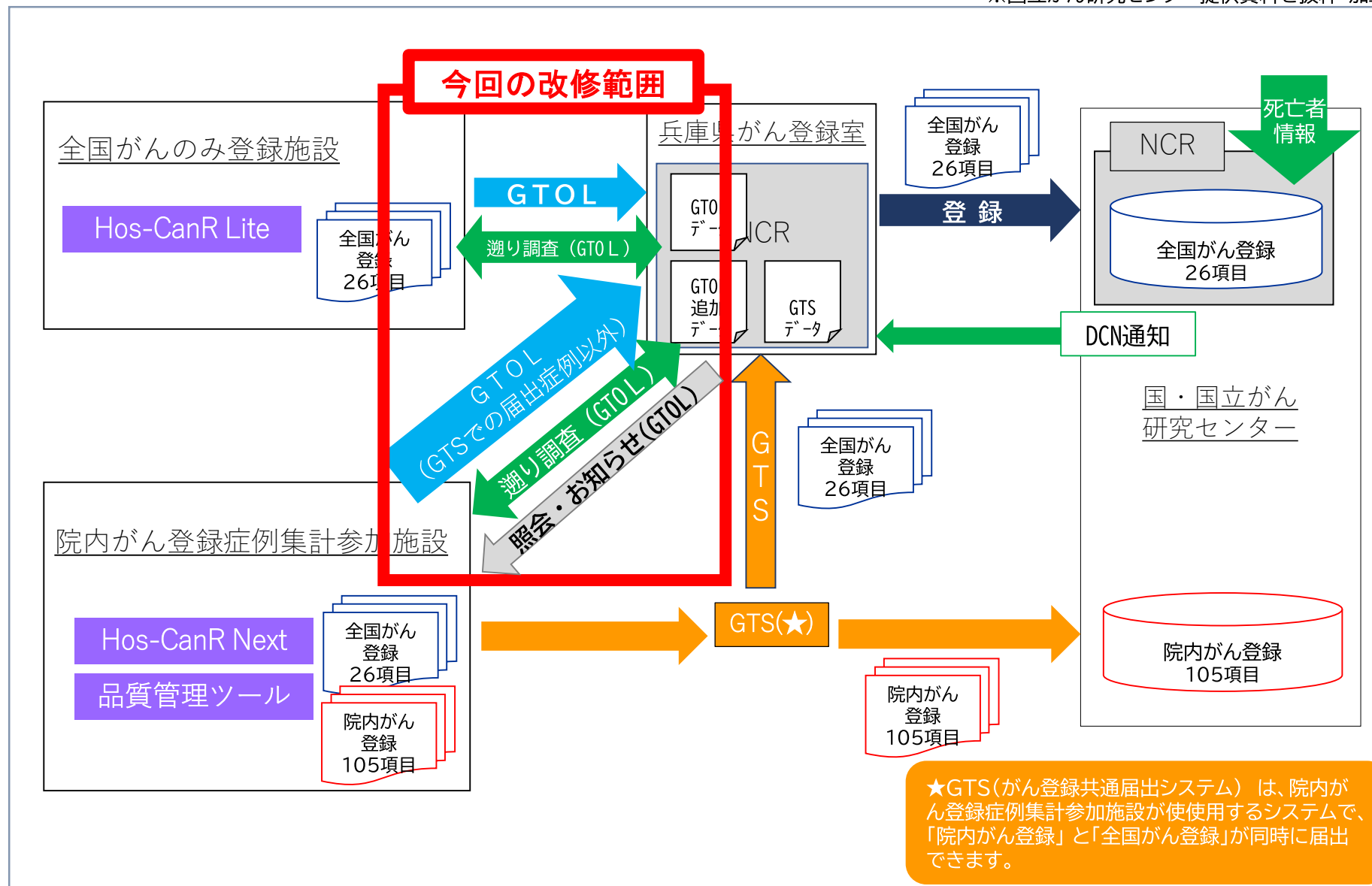
医療機関の皆様にはご負担をおかけしますが、計画的に届出の準備を進めていただきますようお願いいたします。

◎令和8年度の届出時期

病院等の別	2025年診断症例の 推奨届出時期	備 考
がん診療連携拠点病院	2026年 8月末日まで	例年どおり
その他の院内がん登録実施病院等	2026年 9月末日まで	例年どおり
上記以外の病院	2026年11月末日まで	例年よりも1ヶ月早期化

2 がん登録オンラインシステム(GTOL)の機能改修

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工



■（１）改修の概要

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

改修の範囲と概要

National Cancer Center Japan

●がん登録オンラインシステム（GTOL）の届出方式の変更

➤電子届出票PDF ➡ Webフォーム届出へ

- Webフォームへの直接入力方式（①）
- CSV形式のアップロードは引き続き可能（②）
- 下書き保存機能（③）、履歴閲覧・出力機能（④）、
- 全国がん登録システム（以後、NCR）と同等のチェック機能を実装

電子届出票PDFの
ダウンロードは不要です！

●暗号化/復号化のためのGUIツール（⑤）

- GTOLを介したファイル授受には必須要件
- VPN接続、GTOLへの接続、証明書更新も包含

ただし、GUIツールで、
CSVファイルの暗号化を
行う必要があります！

●コミュニケーション機能（⑥）

- 都道府県と医療機関とのセキュアな情報、ファイル共有が可能
- 法20条に基づくデータ提供にも利用可能

当室からの疑義照会も、
この機能を利用します！

この他にも・・・

- ・Webフォーム届出時のチェック時間が短縮！（2時間➡数分程度に）
- ・下書き保存期間は1年間！（従来の電子届出票PDFは、DL後60日の有効期限あり）など

機能が
改善・充実



■（２）お知らせとお願い

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

医療機関ユーザーの皆様へ



- a. 原則、Webフォームへ直接入力いただく（一時保存機能：上限100件まで）か、暗号化したCSVファイルを直接GTOLへアップロードいただくことで全国がん登録を届け出いただきます。
- b. VPN接続には新たに配布しているGUIツールをご活用ください。ファイルの暗号化、復号化にもご利用いただけます。
- c. 従来方式（電子届出ファイル（PDF））での届け出を継続する救済措置については年内一杯での終了を想定しております。その後の非オンライン化施設への対応は引き続き検討中です。

■（３）新旧対照表

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

新旧対照表 Update		National Cancer Center Japan	
		機能改修前	機能改修後 (4月以降)
NEW!	GTOLにおけるWebフォーム入力形式による届出	×	○
NEW!	GUIツールを用いた暗号化・復号化	×	○
RENEWAL	GTOLを介した都道府県と各医療機関のファイル授受 (20条提供含む)	△	○
RENEWAL	証明書更新	証明書ファイルの 配置→適用	GUIツール上への ドラッグアンドドロップ
NEW!	都道府県と各医療機関とのコミュニケーション機能	×	○
	電子届出ファイル (PDF)	○	○
	ー全国がん登録届出支援サイト (ダウンロード)		(年内を期限に終了想定)
	ーGTOLを用いた届出 ーファイル授受のための暗号化ツールとしての利用		

■ (4) ① Webフォーム届出画面（直接入力）

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Webフォーム届出①Webフォーム

がん登録オンラインシステム (GTOL)

メニュー

ホーム

トップ

カテゴリ

お知らせ

ダウンロード

Webフォーム届出

全国がん登録届出

届出状況の確認

利用者管理

登録情報

ヘルプ

お知らせ

がん登録オンラインシステム (GTOL) からのお知らせ

新着のお知らせはありません

クイックアクセス

ダウンロード

ダウンロードはこちら

電子届出書ファイル

ダウンロード

電子届出書ファイル

ダウンロード

PDF届出

PDF届出書はこちら

全国がん登録届出

届出状況の確認

届出状況の確認

Webフォーム届出

Webフォーム届出書はこちら

全国がん登録届出

届出状況の確認

利用者

利用者管理はこちら

利用者管理

登録情報

登録情報はこちら

登録情報

ヘルプ

お問い合わせ

よくある質問

FAQ

マニュアル

ダウンロード

入力欄はマウスクリックでの選択も、Tabキーでの遷移も可能です。氏名不詳の際はこちらをチェック。

全国がん登録届出

電子届出書をWebフォームから入力するページです。

入力方法 ☒ Webフォームで届出 ☐ CSVファイルで届出

全国がん登録届出

電子届出書の入力を行います。

① 医療機関の名称 医療法人 みる内科クリニック

② 診療科目 内科 (全半角英数16文字)

③ カナ氏名 シ (全角カナ10文字) メイ (全角カナ10文字)

④ 氏名 氏 (全角10文字) 名 (全角10文字)

☐ 氏名不詳

⑤ 性別 ☐ 1.男性 ☐ 2.女性

⑥ 生年月日 0.西暦 1.期 2.大 3.期 4.平 5.令 年 月 日

⑦ 診療科目 都道府県選択 (A選択)

市区町村以下

⑧ 性別 ☐ 1.右 ☐ 2.左 ☐ 3.両側 ☐ 7.両性なし ☐ 9.不明

⑨ 患部 大分県 選択してください

⑩ 診断分類 選択してください

⑪ 病理診断 結腸癌・性腺 選択してください

⑫ 診断情報

⑬ 診断情報 ☐ 1.病理診断 ☐ 2.他施設診断

■ (5) ② Webフォーム届出画面 (CSVファイルアップロード)

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Webフォーム届出②CSVファイルアップロード Update National Cancer Center Japan

がん登録オンラインシステム (GTOL) ○○大学病院 国がん 太郎 サインアウト

メニュー

- ホーム
- トップ
- カテゴリ
- お知らせ
- ダウンロード
- PDF届出
- Webフォーム届出
- 利用者管理
- 登録情報
- ヘルプ

全国がん登録届出

電子届出票をWebフォームから入力、またはCSVファイルをアップロードして届出を行うページです。

入力方法 ☐ Webフォームで届出 ☒ CSVファイルで届出

Hos-CanR Lite等で作成したCSVファイル (.p7m) をアップロードして届出を行います。
※CSVファイルによる届出は下書きに保存されず、直接届出されます。

アップロードする暗号化ファイル (.p7m) をドラッグ&ドロップしてください。

またはファイルを選択

確定画面へ進む

GUIツールで暗号化済のCSV
ファイル
(.p7m形式) のみ受付

ドラッグアンド
ドロップでも
選択可能

■ (6) ③ 下書き保存機能、④ 履歴閲覧・出力機能

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Webフォーム届出

③ 下書き保存機能

④ 履歴閲覧・出力機能

入力後のエラーチェックまで完了しても、ここに貯めることで一括で届出することができます。届出後はこの一覧には表示されなくなり、「届出情報の確認」画面にリストされます。

WEBフォームへの直接入力で届け出る場合は、完成した届出票から順に提出するのではなく、この下書き保存機能を使用して、**まとめて(一括で)提出**いただきますようお願いいたします。
(最大100件まで下書き保存が可能です)



■ (7) ⑤ GUIツール

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

⑤ GUIツール

証明書の更新

VPN接続状況: 未接続 ●

初期VPN設定

暗号化
ドラッグ
＆
ドロップ
ファイルを選択

復号
ドラッグ
＆
ドロップ
ファイルを選択

暗号化する

復号する

詳細ログ

VPNツールはインストール済みです

VPN (st-gtol-vpn) 接続しました

VPN接続

接続する

GTOL接続

VPN接続状況: 接続中 ●

GTOLを開く

暗号化
ドラッグ
＆
ドロップ
ファイルを選択

復号
ドラッグ
＆
ドロップ
ファイルを選択

暗号化する

復号する

詳細ログ

VPN (st-gtol-vpn) 接続しました

GTOL用のPCへインストールいただくことで、VPN接続、GTOL（ブラウザ）を開く、ファイルの暗号化・復号化、証明書の更新がこの画面内で完結します。

12

■ (8) ⑥ コミュニケーションツール

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

⑥ コミュニケーションツール New

National Cancer Center Japan

- 都道府県と医療機関との間のコミュニケーションやファイルの送受信をセキュアに行うための機能。法20条に基づくデータ提供にも利用可能。



今後は、届出内容に係る疑義照会、及び法20条に基づくデータ提供は、コミュニケーションツールを利用します

ただし、コミュニケーションツールを利用するためには、GUIツールのインストールが必要です



できるだけ早めに
GUIツールのインストールを
お願いします！

■ (9) GTOL 関係各種マニュアル等の入手先

一次資料 (がん情報サービス) New

GTOL (がん登録オンラインシステム) に関する資料

GTOL (がん登録オンラインシステム) とは

GTOL (がん登録オンラインシステム) とは、全国がん登録をネットワーク上で集約し、活用するためのシステムです。

GTOL (がん登録オンラインシステム) を利用するには

ご利用にあたり必要な環境やネットワークの条件のご説明

GTOL (がん登録オンラインシステム) に関する資料

ご利用に必要な各種手帳等をまとめた資料

クイックアクション

ご利用手続き (外部サイトへ)

GTOL (がん登録オンラインシステム) 証明書の更新手順

GTOL (がん登録オンラインシステム) 証明書の更新のための手順書を掲載しています

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

一次資料 (がん情報サービス) New

GTOL (がん登録オンラインシステム) に関する資料

GTOL (がん登録オンラインシステム) とは

GTOL (がん登録オンラインシステム) とは、全国がん登録をネットワーク上で集約し、活用するためのシステムです。

GTOL (がん登録オンラインシステム) を利用するには

ご利用にあたり必要な環境やネットワークの条件のご説明

GTOL (がん登録オンラインシステム) に関する資料

ご利用に必要な各種手帳等をまとめた資料

クイックアクション

ご利用手続き (外部サイトへ)

GTOL (がん登録オンラインシステム) 証明書の更新手順

GTOL (がん登録オンラインシステム) 証明書の更新のための手順書を掲載しています

【リーフレット・手順書】

[GTOL セットアップ手順 \(初回セットアップの概要手順\) \(2026/3/31 Update\)](#)

[GTOL サインイン手順 \(2回目以降サインイン時の概要手順\) \(2026/3/31 Update\)](#)

[パスワード不明時のご案内 \(パスワード変更の概要手順\) \(2026/3/31 Update\)](#)

[GTOL 証明書更新手順 \(Windows11版\) \(2026/3/31 Update\)](#)

[GTOL 証明書更新手順 \(mac14.15.26版\) \(2026/3/31 Update\)](#)

【マニュアル本紙 全機能詳細手順】

[1章 がん登録オンラインシステムの概要 \(2026/3/31 Update\)](#)

[2章 ご利用手続き \(2026/3/31 Update\)](#)

[3章 サインイン・サインアウト \(2026/3/31 Update\)](#)

[4章 Web フォーム届出 \(2026/3/31 Update\)](#)

[5章 CSV 届出 \(2026/3/31 Update\)](#)

[6章 届け出状況の確認 \(2026/3/31 Update\)](#)

[7章 遡り調査 \(2026/3/31 Update\)](#)

[8章 その他の機能 \(2026/3/31 Update\)](#)

[9章 お困りのときは \(2026/3/31 Update\)](#)

[付録 GTOL 届出エラー一覧 \(2026/3/31 Update\)](#)

【その他のドキュメント： GTOL (公開サイト/非公開サイト) や問合せ窓口より提供中】

- GUI ツール (VPN 接続) セットアップマニュアル
- GTOL 利用要件、GTOL 利用規約、個人情報管理設計

■【参考】GUIツール インストール手順

<送付文書>

令和8年4月23日

各病院・指定された診療所の
全国がん登録 ご担当者 様

公益財団法人日本癌研会連合会 がん登録室

がん登録オンラインシステム新機能追加のお知らせ
及びGUIツールのインストールのお願い

平素は全国がん登録事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、全国がん登録の届出にご利用いただいております「がん登録オンラインシステム（以下「GTOL」という）」について、本年3月に新機能が追加されました。
この新機能の追加により、GTOL画面からの直接届出が可能となったほか、各医療機関と当会間でファイルやメッセージのやりとりが可能となるなど、利便性が向上しています。
ただし、これらの新機能を利用するためには、各医療機関において、新しいVPN接続ツール（GUIツール）のインストールが必要です。
また、現在ご利用いただいている機能（電子届出受付、VPN接続ツールなど）は、1年以内に機能が廃止され、利用できなくなります。
つきましては、別添の資料を参考に、できるだけ早急にGUIツールへの乗り換えを進めていただきますようお願いいたします。
今までGTOLを利用されていない医療機関におかれましても、ぜひこの機会にGTOLによるオンライン届出をご検討ください。

記

1. GTOL新機能の概要
主に以下の機能が追加・変更されています。
○届出方式の変更
→Webフォームへの直接入力届出方式
→暗号化済CSVファイルのアップロード届出方式
→下書き保存機能、履歴閲覧・出力機能を実装
○暗号化/復号化のためのGUIツールの配布
→GTOLを介したファイルの授受にはGUIツールのインストールが必須
→VPN接続、GTOLへの接続、証明書更新等もこのツール上から一元的に実施可能
○医療機関と当会間の安全かつ円滑なファイル・情報共有を促進する「コミュニケーション機能」の追加
○エラーチェック機能の充実

2. GUIツールへの乗り換え手順
別紙「GUIツール インストール手順」をご参照ください。

3. 各種資料・マニュアル（GTOL利用マニュアル・GUIツールセットアップマニュアル等）
国立がん研究センターホームページ「がん情報サービス」からダウンロードしてください。
https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/hospital/e-reg/online.html

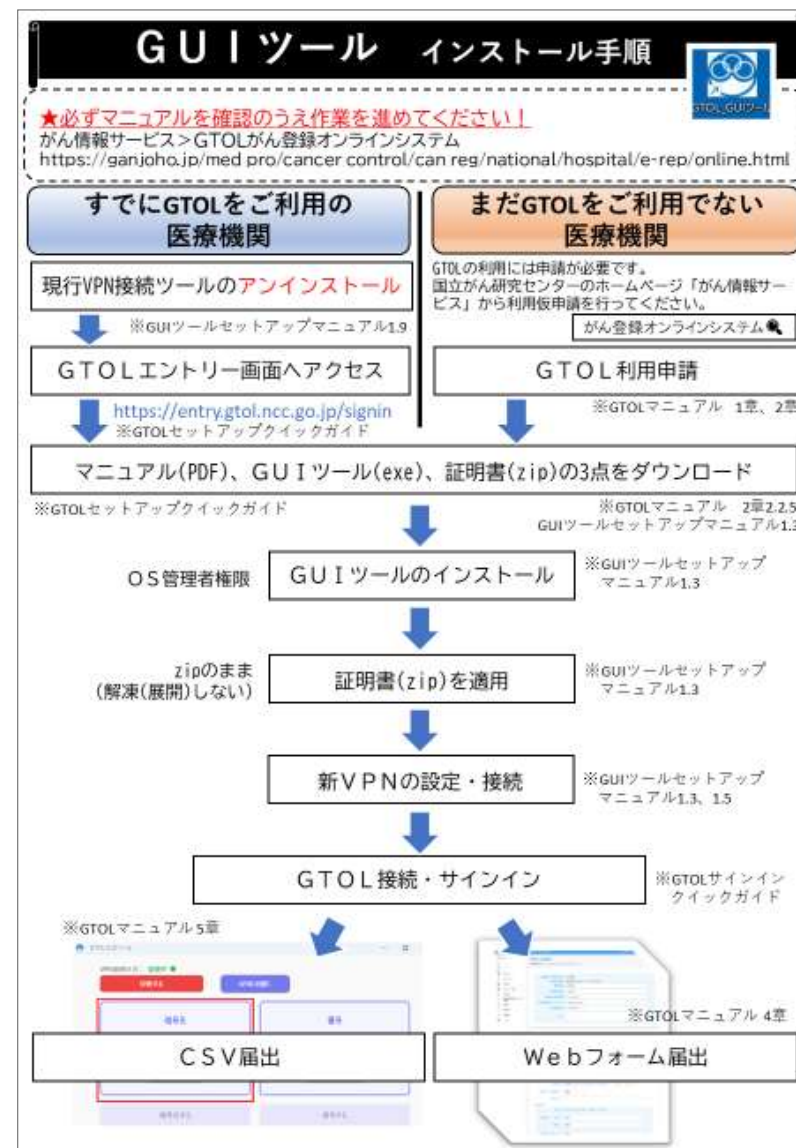
4. 問い合わせ先
「がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム」から、国立がん研究センターへ直接お問い合わせください。
<https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create>
※GTOLからも問い合わせ可能です。関係・保守センター担当者として直接対応いただくことも可能ですので、この問い合わせフォームからご相談ください。

＜お問い合わせ先＞
公益財団法人日本癌研会連合会 がん登録室
〒651-2103
神戸市西区学園西町6丁目3-1
電話：079-793-0340

各医療機関あてに送付した「がん登録オンラインシステム新機能追加のお知らせ及びGUIツールのインストールのお願い」（令和8年4月23日付け）及び同文書に同封したチラシもご覧ください。

※「2025年診断症例以降における全国がん登録の届出期限の早期化について」（令和8年4月23日付け疾第1420号）と一緒に送付しています。

<チラシ>



■ 【参考】GTOL、GUIツールに関する問い合わせ先

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

GTOL改修に関する問い合わせ窓口



■ 医療機関ご担当者様

がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム

がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム

<https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create>

各医療機関の情報システム担当者と、GTOL開発・保守ベンダー担当者とで直接対話いただくことも可能です。上記問い合わせフォームからご相談ください。



3 被保険者番号の収集について【2027年診断症例～】

2027年診断症例から、全国がん登録の届出対象項目に
「医療保険被保険者番号等」が追加されます。



各医療機関において、 被保険者番号等の取得方法の検討・対応が必要です！

被保険者番号等の入力実務、業務フローの見直しのほか、システム改修やシステム連携等、各医療機関で必要な対応が異なります。

自施設の状況をご確認いただき、できるだけ早めに貴院のシステムご担当者様等へご相談ください。

例えば、データの取り込みを・・・

R8.6月～被保険者番号等に対応したサービスパック
(SP.1.46)が国がんHPIにて無償配布されています。

<がん登録支援ソフトウェア(Hos-Can R)を使用している場合>

➡当該ソフトウェアのインストール、電子カルテ、レセコン、その他の院内システムとの連携が必要です。
貴院のシステム担当者様へご相談ください。

<病院独自のシステムを使用している場合>

➡当該システムの改修が必要です。
お早めに貴院のシステムご担当者へご相談ください。

■ (1) 収集項目について

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

2. 収集項目について

National Cancer Center Japan

◎被保険者番号等（生活保護における受給者番号等も含む）
以下の4項目を収集する。

原則必須
(注1、2参照)

- 被保険者番号
- 被保険者証記号（記号）
- 被保険者証番号（番号）
- 被保険者証枝番（枝番）

項目名	文字型	桁数	固定長 / 可変長
被保険者番号	英数字（半角）	8	可変長
被保険者証	記号	英数字（半角）又は漢字	20
	番号	英数字（半角）又は漢字	20
	枝番	英数字（半角）	2

※履歴照会・回答システムにおいて最古の番号を探索し、
同一のID5を生成できるためどのタイミングのものでも可

○公費負担医療制度（法定番号「12」※の場合のみ）
以下の2項目を収集する。

- 公費負担者番号
- 公費受給者番号

項目名	文字型	桁数	固定長 / 可変長
公費負担者番号	英数字（半角）	8	固定長
公費受給者番号	数字（半角）	7	固定長

※生活保護法による医療扶助

公費負担医療制度利用の場合は、
公費負担者番号 → 被保険者番号欄に、
公費受給者番号 → 被保険者証番号欄に記載

注1:後期高齢者医療制度などの一部において、
被保険者証記号・被保険者証枝番が設定されない場合を除く
注2:不明な場合は、
被保険者番号は「99999999」、被保険者証番号は「99」を入力
(ただし、現時点では未確定)

■（２）収集方法（システム）について

届出票の提出に必要なCSVファイルの出力等が可能
(出力したCSVファイルはGTOL・GTSを経由して届出)

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

3. 収集方法について

National Cancer Center Japan

A) がん登録支援ソフトウェア (Hos-Can R)

- 電子カルテ、レセコン、その他の院内システムとの連携
- 被保険者番号等の入力実務、業務フロー
- R8 (2026) 年6月リリースのSPから登録、取込が可能

Hos-CanR以外の病院独自のシステムを使用される場合は、貴院のシステムご担当者様へご相談ください

B) オンライン届出システム (GTOL、GTS)

- 全国がん登録のみを提出する医療機関
 - R9 (2027) 年1月よりGTOLにて届出開始
- 院内がん登録症例集計提出機関
 - R10 (2028) 年7月よりGTSにて登録開始

取り込みまでが可能。
実際の届出は、B)に記載の時期以降に可能となります

■（３）Hos-CanRの概要

Hos CanR Next（院内がん登録支援ソフト）
Hos CanR Lite（全国がん登録支援ソフト） } の総称

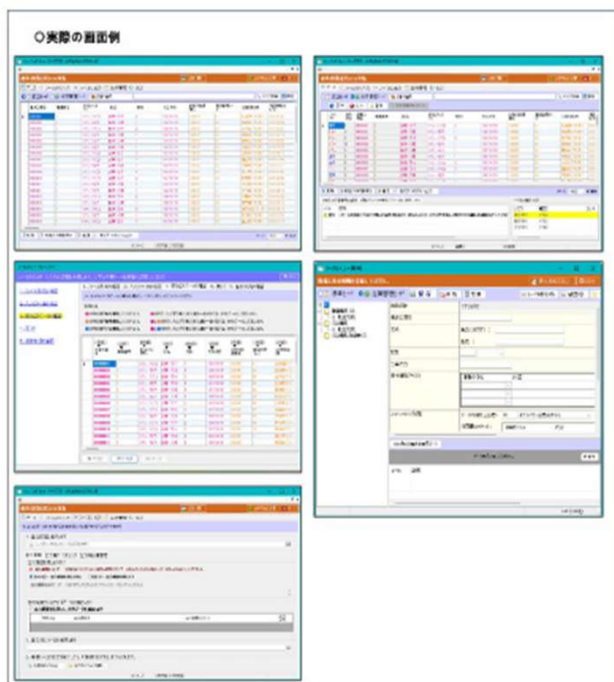
※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Hos-CanRの概要

National Cancer Center Japan

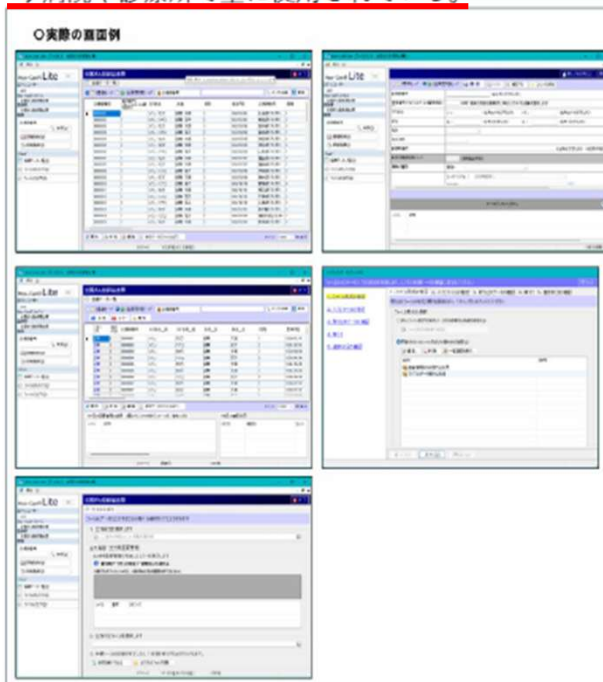
Hos-CanR Next

「院内がん登録標準登録様式 2016年版」に準拠した登録やデータの抽出が可能。
がん診療連携拠点病院等、院内がん登録を行っている施設で主に使用されている。



Hos-CanR Lite

「全国がん登録届出マニュアル」に準拠した登録やデータの抽出が可能。
Nextと比べて入力項目が少ない簡易バージョン。
院内がん登録を実施せず、全国がん登録の届出のみを行う病院や診療所で主に使用されている。



【参考】がん登録協議会第35回学術集会「がん登録支援ソフトHos-CanR（ホスキャナ）の利用状況と今後の展望」

■（４）Hos-CanRの被保険者番号等への対応について

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Hos-CanR被保険者番号等対応



- 被保険者番号等（４項目）を登録・取込・出力できるようアプリケーションおよびデータベースを更新。
- Hos-CanR Next（最短6/24: SP1.68）およびLite（7/6: SP1.46）は本リリースから登録・取込可能。
- Nextの出力機能は院内がん登録の2027年症例の提出時期（2028年6月頃）まで機能を付与しない。
（GTSも同時期に改修）
- Liteの出力機能は2027年1月から対応する。

■ (5) Hos-CanR 登録画面

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

登録画面（直接入力・転記する方法）

 National Cancer Center Japan

- ・ID項目と氏名の間に項目を配置（変更可能）

【Next】

患者ID番号			
被保険者番号	保険者番号:		
	被保険者証記号:		被保険者証番号: 被保険者証枝番:
氏名	氏名(フリガナ):		
	氏名:		

【Lite】

診療録番号	(全半角16文字以内)		
重複番号<Hos-CanR Lite管理項目>	※同一患者で複数の腫瘍をもつ場合に付与する連番を意味します		
被保険者番号	保険者番号:		
	被保険者証記号:		被保険者証番号: 被保険者証枝番:
カナ氏名	シ: (全角カナ10文字以内)	メイ: (全角カナ10文字以内)	
氏名	氏: (全角10文字以内)	名: (全角10文字以内)	

■ (6) Hos-CanR インポート画面

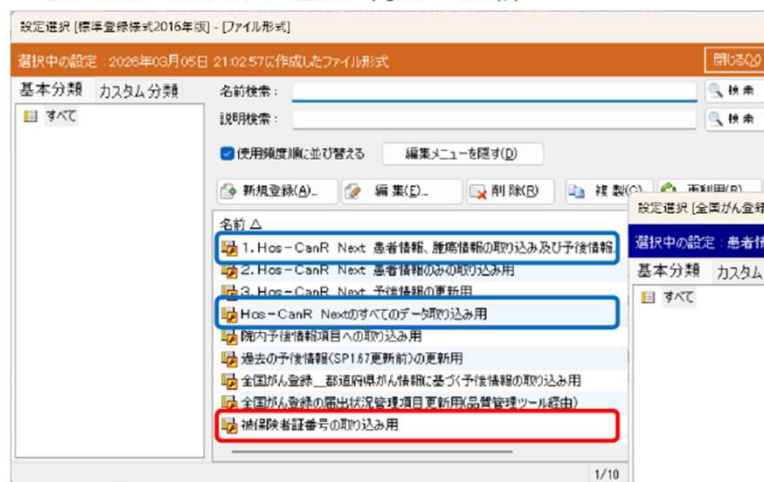
※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

インポート画面 (他のシステムで作成したCSVファイルを取り込む方法)

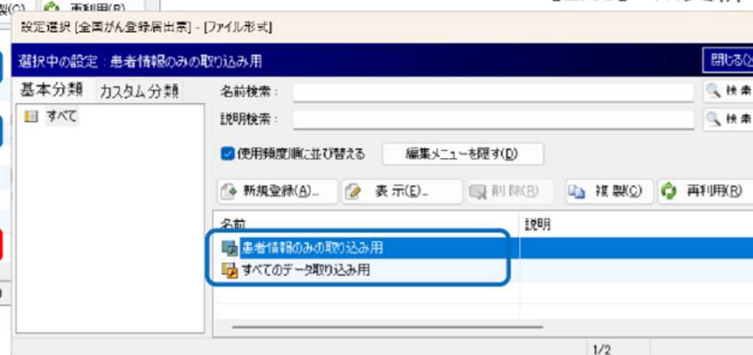
National Cancer Center Japan

SP適用時に被保険者番号用の設定を追加。電子カルテ等、他のシステムからのインポートを想定したもの。Nextは専用の設定を追加および既存の設定を更新、Liteは既存の設定を更新のみ。

【Next】 ※赤枠：追加、青枠：更新



【Lite】 ※更新



■ (7) Hos-CanR インポート設定画面

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

Hos-CanRインポート設定 (あらかじめHos-CanRへ実装している様式)



• Next

登録票：標準登録様式2016年版
設定名：被保険者証番号の取り込み用

※[患者ID番号]は長さ30。
※インポート時に、レコード追加or更新を指定して取り込む。
※ユーザーは独自のインポート設定を作成可能。

項目名	カテゴリ	型	変換	カテゴリ別のキー	項目の指定
患者ID番号	患者情報	文字列型		☒	患者ID番号
保険者番号	患者情報	文字列型		☐	保険者番号
被保険者証記号	患者情報	文字列型		☐	被保険者証記号
被保険者証番号	患者情報	文字列型		☐	被保険者証番号
被保険者証枝番	患者情報	文字列型		☐	被保険者証枝番

• Lite

登録票：全国がん登録届出票
設定名：すべてのデータ取り込み用、患者情報のみの取り込み用

※インポートはレコード追加のみ対応。

項目名	キー	型	変換	項目の指定	オプション設定
保険者番号	☐	文字列型		保険者番号	
被保険者証記号	☐	文字列型		被保険者証記号	
被保険者証番号	☐	文字列型		被保険者証番号	
被保険者証枝番	☐	文字列型		被保険者証枝番	

【Next/Lite共通仕様】
※データソースはCSV。

今後、被保険者証番号と被保険者証記号が「・」で連結されたデータなども取り込めるような設定（様式）を追加していく予定。

■ (8) Hos-CanR 今後の実装機能

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

今後、実装される機能



- Hos-CanRエクスポート設定
 - Liteは2027年1月の収集開始に合わせて届出票の項目に追加予定。
 - Nextは2027年症例の提出に合わせて2028年6月頃に追加予定。
 - ユーザーは独自のエクスポート設定を作成可能。
- 品質管理チェック (Nextのみ)
 - 提出・届出が開始されるまでに実装。
 - チェック内容は既存の電子カルテ等やNCRの実装に合わせ、システム間の授受に支障がないようにする。

Hos-CanRの更新情報は・・・

- 国立がん研究センターHP「がん情報サービス」で随時案内されます！
- Hos-CanR導入済みの医療機関には、メールでも案内があります！

最新のバージョンをご確認ください
※LiteはSP1.46(R8.8月末現在)です



■ (9) Hos-CanR 問い合わせ先

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工

ご利用に際して

National Cancer Center Japan

・Hos-CanRの導入をご検討いただける方はこちらのページから詳細をご確認ください。

Hos-CanR (がん登録支援ソフト) : [国立がん研究センター がん情報サービス 医療関係者の方へ]

利用条件・お申し込み方法

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hos_can.html

施設において、「Next」を利用するのか「Lite」を利用するのか各導入マニュアルもあわせてご確認ください、ご検討の上お申込みください。

- ・費用：無料（ライセンス料なし）
- ・著作権：国立がん研究センターに帰属
- ・注意事項：利用者の自己責任・無保証での提供となります。導入にはIT専門家の支援が必要な場合があります。
- ・申し込み：医療機関限定。以下の専用フォームよりお申し込みください。

Hos-CanR Next導入マニュアル

Hos-CanR Lite導入マニュアル

Hos-CanR Next申し込みフォーム

Hos-CanR Lite申し込みフォーム



<Hos-CanRに関する問い合わせ>

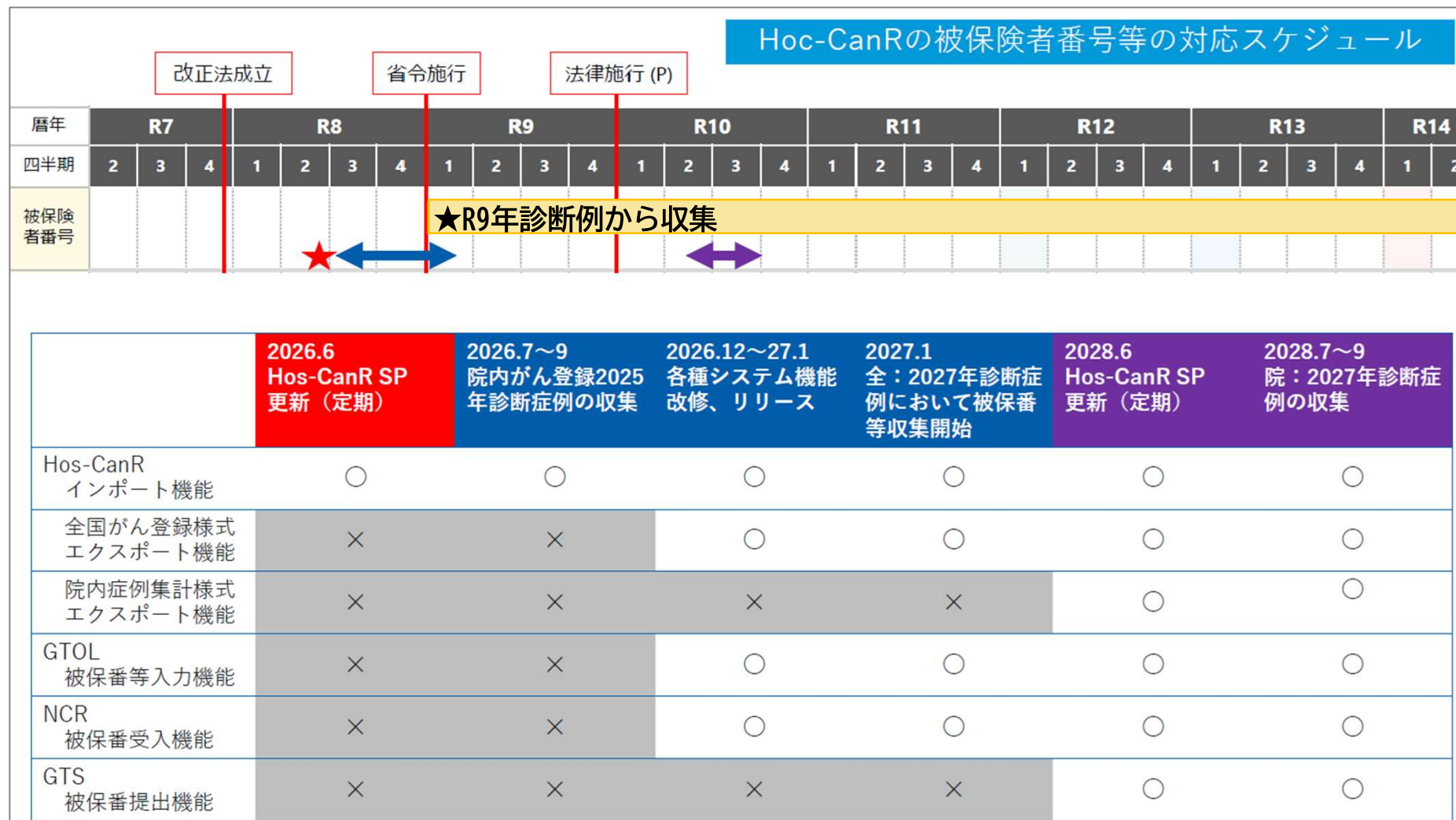
➡ 国立がん研究センター がん対策研究所がん登録センターまで
直接メールでお問い合わせください。

メールアドレス：tds@ml.res.ncc.go.jp



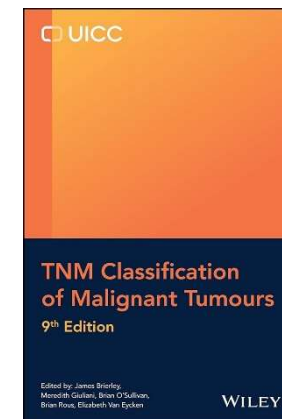
■ (10) Hos-CanR 被保険者番号等の対応スケジュール

※国立がん研究センター提供資料を抜粋・加工



4 UICC TNM分類の収集について【2028年診断症例～】

全国がん登録では、がんの進行度は「全国がん登録届出マニュアル」に規定される進展度で届出いただいておりますが、2028年診断症例からは、国際対がん連合(UICC)のTNM分類を加えることが予定されています。



多くの医学研究で用いられているTNM分類の追加により、全国がん登録情報のさらなる活用が期待されています。



5 ICD-O-4版の導入について【2029年診断症例～】

【ICD-O-3.2版】



【ICD-O-4版】

国際がん研究センター
がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control

国際疾病分類 腫瘍学 第3版 (ICD-O-3)
WHO/IARCより2019年に最新版刊行 (3.2)

1. 局在コード

2. 形態コード

国際がん研究センター
がん対策研究所
National Cancer Center
Institute for Cancer Control

国際疾病分類 腫瘍学 第4版 (ICD-O-4)
WHO/IARCより2025年に刊行予定

1. 局在コード

2. 形態コード

TNM分類の収集、及びICD-O-4版の導入にあたっては、各病院等の実務者を対象に、国立がん研究センターによる研修が実施される予定です。



※国立がん研究センター
提供資料を抜粋・加工

6 がん登録のルール変更について（全国がん登録関連）

(1) 2026年診断症例からのルール変更

- ①乳癌の浸潤性乳管癌の亜分類
- ②扁平上皮癌のHPV陽性・陰性の形態コード

(2) 2027年診断症例からのルール変更

- ①胃の上皮内がんのT分類、進展度

■（１）2026年診断症例からのルール変更

①乳癌の浸潤性乳管癌の亜分類

乳癌取扱い規約第19版（2025年6月発行）で浸潤性乳管癌の組織型の亜分類が見直されたため、**2026年診断症例から**浸潤性乳管癌の6桁目は、亜分類ではなく、**病理学的グレードを反映**することとする。

2025年診断症例まで

浸潤性乳管癌	腺管形成型	・・・	8500/31
	充実型	・・・	8500/32
	硬性型	・・・	8500/33



2026年診断症例から

浸潤性乳管癌の形態コード6桁目は**病理学的グレードを反映**する。



ただし、Webフォーム直接入力&電子届出票PDF は
6桁目の入力できませんので、
備考欄に「浸潤性乳管癌 Grade1」等とご記入ください



【参考】浸潤性乳管癌のグレード分類 乳癌取扱い規約 第19版より抜粋

11. 病理学的グレード分類

グレード(異型度)分類は、主として浸潤性乳管癌の浸潤部を対象とし、ヘマトキシリン・エオジン染色標本を用いて判定する。判定方法としては、組織学的グレード分類(histological grading)と核グレード分類(nuclear grading)がよく用いられている。

a. 組織学的グレード分類(histological grading)

組織学的グレード(histological grade)の判定：腺管形成スコア+核多形性スコア+核分裂像スコアの合計

Grade 1: 3, 4, 5 点

Grade 2: 6, 7 点

Grade 3: 8, 9 点

1) 腺管形成(tubule formation)スコア^{注1)}(図12~15)

1点：腫瘍の75%超に明らかな腺管形成がみられる。

2点：腫瘍の10~75%に腺管形成がみられる。

3点：腺管形成は腫瘍の10%未満である。

2) 核多形性(nuclear pleomorphism)スコア^{注2)}

1点：小型、規則的、均一な細胞

2点：大きさおよび多様性の中等度の増加

3点：顕著な多様性

3) 核分裂像(mitotic counts)スコア

顕微鏡の視野数(または視野面積)により異なる。顕微鏡接眼レンズの特性に基づく核分裂像算定基準の補正は表1のように行う。

注1：腺管形成は、弱拡大で腫瘍全体を観察して評価し、極性を有する腫瘍細胞で囲まれた明瞭な腺管構造のみを評価する。

●組織学的グレード分類

●核グレード分類

b. 核グレード分類(nuclear grading)

核グレード(nuclear grade)の判定：核異型スコア+核分裂像スコアの合計

Grade 1: 2, 3 点

Grade 2: 4 点

Grade 3: 5, 6 点

1) 核異型(nuclear atypia)スコア(図16~18)

1点：核の大きさ、形態が一様で、クロマチンは目立たない。

2点：1と3の中間

3点：核の大小不同、形態不整が目立つ。クロマチンの増量、不均等分布が目立ち、大型の核小体を有することがある。

2) 核分裂像(mitotic counts)スコア

低~中倍で分裂像の目立つ部分を選んだ後、高倍で観察する。顕微鏡接眼レンズの特性に基づく核分裂像算定基準の補正は表1のように行う。接眼レンズ視野数20、高倍(対物40×)の場合、次の通りとなる。

1点：10視野で5個未満

2点：10視野で5~10個

3点：10視野で11個以上

実際に入力するときは・・・

- ①組織学的グレード分類、核グレード分類の「どちらか」のグレード分類が診療録に記載されている場合 ➡ 記載されているグレード分類で登録
- ②組織学的グレード分類、核グレード分類の「両方」のグレード分類が診療録に記載されている場合 ➡ 組織学的グレード分類を優先して登録
- ③グレード分類が不明または未記載の場合 ➡ 形態コード 6桁目は「9」
例) 浸潤性乳管癌 充実型 ➡ 2025年診断症例・・・8500/32
2026年診断症例・・・8500/39

病理診断テキスト(または備考)には、グレードを含めて記載してください。

例) 形態コード : 8500/31

病理診断テキスト : 浸潤性乳管癌 Grade1
浸潤性乳管癌 核グレード分類 Grade1

「どの方法でグレードを評価したのか」が必要な場合は、
グレード分類名を病理診断テキストへ記載いただいても構いません



■（１）2026年診断症例からのルール変更

②扁平上皮癌のHPV陽性・HPV陰性の形態コード

- ▶8085/3 Squamous cell carcinoma, HPV positive
- ▶8086/3 Squamous cell carcinoma, HPV negative

- ➡2022年診断症例以降、採用しない（使用しない）ことになっていたが、
2026年診断症例から制限を設けない。
- ➡HPV検査が行われており、かつ、Keratinizing scc等詳細な情報が
含まれる場合、
HPV検査結果を反映した「8085/3」または「8086/3」を優先する。
詳細な情報は、病理診断テキストに入力する。

HPV検査が行われていない場合は、
8070等を使用してください



■（2）2027年診断症例からのルール変更

①胃の上皮内がんのT分類、進展度

胃の上皮内癌は、日本胃癌学会の「胃癌取り扱い規約」の壁深達度分類に準拠し、

- 臨床現場では上皮内がんも含めて「T1a」としていた
- 全国がん登録では、上皮内がんを進展度「限局」として登録していた



～胃癌取り扱い規約が、令和8(2026)年3月6日に第16版へ改訂～

- 胃がんにおける上皮内がんを「Tis」と定義
- 令和9(2027)年1月1日以降**に新たに胃がんと診断された症例から
全国がん登録では、上皮内がんを進展度「上皮内」として登録

胃癌取り扱い規約 第15版（2026年診断症例まで）

		胃			
		全国がん登録	院内がん登録	UICC TNM 第 8 版	胃癌取り扱い 規約 第 15 版
粘 膜	粘膜上皮 (上皮内)	限局	T1a	Tis	T1a
	T1a				
	粘膜固有層				
	粘膜筋板				
	粘膜下層		T1b	T1b	T1b
	固有筋層		T2	T2	T2
	漿膜下層	T3	T3	T3	
	漿膜層	隣接臓器浸潤	T4a	T4a	T4a
	隣接臓器		T4b	T4b	T4b

胃癌取り扱い規約 第16版（2027年診断症例～）

表 2

		胃			
		全国がん登録	院内がん登録	UICC TNM 第9版	胃癌取り扱い規約 第16版
粘膜	粘膜上皮 (上皮内)	上皮内	Tis	Tis	Tis
	粘膜固有層	限局	T1a	T1a	T1a
	粘膜筋板				
	粘膜下層		T1b	T1b	T1b
	固有筋層		T2	T2	T2
	漿膜下層		T3	T3	T3
	漿膜層		T4a	T4a	T4a
	隣接臓器		T4b	T4b	T4b

7 各種マニュアルの改訂

以下のマニュアルが改訂・策定されました。

新マニュアル名称	ダウンロードURL	主な改正点等
全国がん登録 届出マニュアル 2026 [2026.4月改訂]	https://www.mhlw.go.jp/content/001728039.pdf	・がん登録オンラインシステムのwebフォーム画面（見本）の追加、電子届出票（見本）の削除 ・カナ氏名、生年月日の入力にかかる注意事項を追記 など
全国がん登録 情報の利用マニュアル第3版 [2026.4月、7月改訂]	https://www.mhlw.go.jp/content/001732031.pdf	院内がん登録のための申請（法第20条）においては、 ・利用者欄は病院等の管理者以外は省略可 ・研究計画書の提出は不要 ・公表前確認は不要 など

今後、

- ▶ 被保険者番号の追加（2027年症例～）
- ▶ TNM分類の追加（2028年症例～）
- ▶ ICD-O-4版の導入（2029年症例～）

と、全国がん登録の届出項目や登録ルールに大きな変更が予定されています。

これに伴い、各種マニュアルも随時改訂される予定です。

届出等にあたっては、最新のマニュアルをご参照いただきますようお願いいたします。

※国立がん研究センター提供資料より抜粋

※国がん研究センター提供資料より抜粋

	改正法成立				省令施行				法律施行 (P)																															
暦年	R7			R8				R9				R10				R11				R12				R13				R14												
四半期	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2											
被保険者番号								★R9年診断例から収集																																
UICC TNM 第9版								病院向け研修等				★R10年診断例から収集																												
ICD-O								★R11年診断例から変更 (ICD-O-3.2⇒ICD-O-4)																																
								* 国際がん研究機関 (IARC) がICD-O-4を公表 (P)																																

★R9年診断例から収集

★R10年診断例から収集

★R11年診断例から変更（ICD-O-3.2⇒ICD-O-4）

*国際がん研究機関（IARC）がICD-O-4を公表（P）



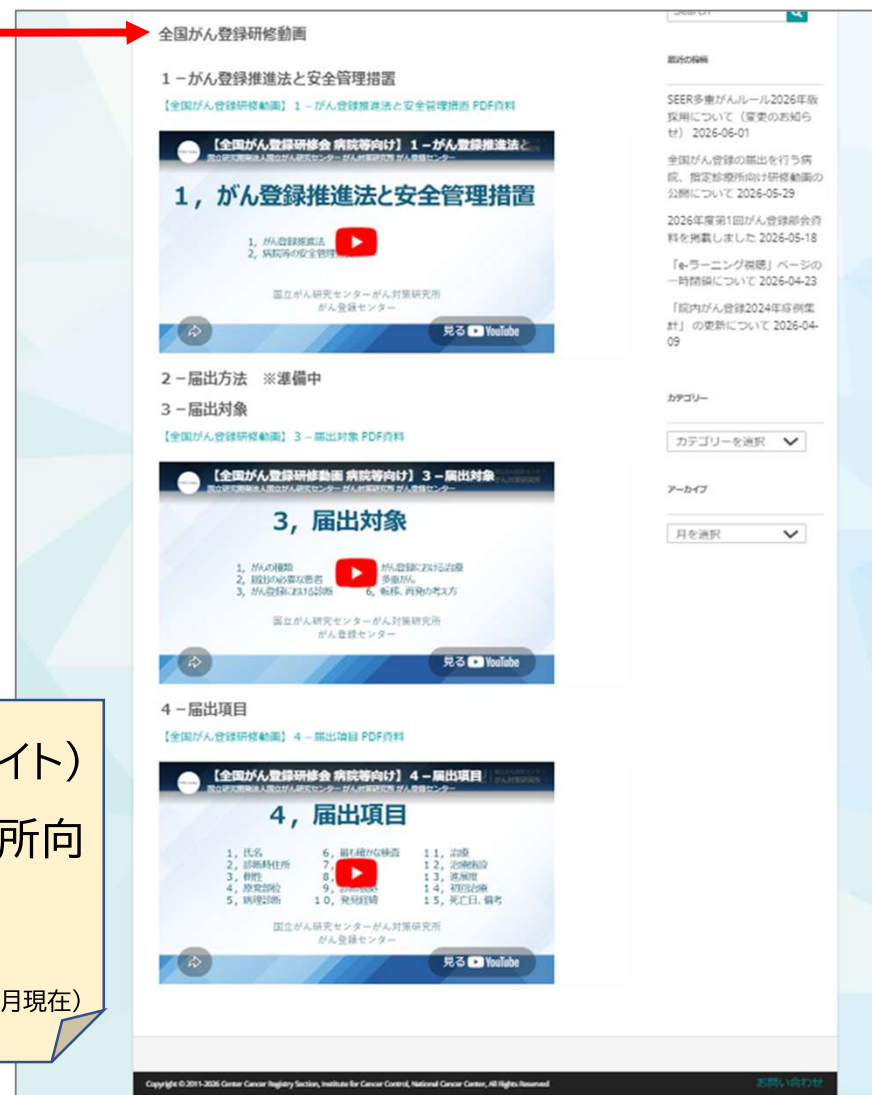
8 全国がん登録 研修動画の公開について



NEW!
(R8.5月~)

「がん登録支援」サイト(旧「院内がん登録支援」サイト)に、全国がん登録の届出を行う病院、指定診療所向けの研修動画が公開されています。

※「届出方法」(Webフォーム・GTOLに関する動画)は準備中です。(2026.8月現在)準備が整い次第、順次公開されます。



9 届出に関する参考資料（1）

- 進展度、UICC TNM分類対応表(72部位、UICC第8版準拠)
→ https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/pdf/toroku09.pdf
- 部位別テキスト(主要5部位:胃・大腸・肝・肺・乳腺)
→ https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/hospital/manual.html
- 部位別テキスト(主要5部位以外)
→ https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn
- 国際疾病分類 腫瘍学(ICD-O) 第3.1版
→ 一般財団法人 厚生労働統計協会発行の書籍(平成30年7月発刊)
- 国際疾病分類 腫瘍学(ICD-O) 第3.2版
→ https://ctr-info.ncc.go.jp/hcr_info/learn/
※書籍の出版予定はありません



9 届出に関する参考資料（2）

▶公益財団法人兵庫県健康財団HPよりダウンロードできます
https://kenkozaidan.or.jp/programs/cancer_registry/

兵庫県がん登録室作成資料

▶ 令和8年版 全国がん登録届出マニュアル ポイント解説集



「全国がん登録 届出マニュアル2026」の解説集です。
届出マニュアルだけでは理解が難しい内容の補足、
届出票作成時の注意点やポイントなど、
届出実務に役立つ情報を掲載しています。



▶ がん登録オンラインシステム(GTOL)による届出について ～操作編～



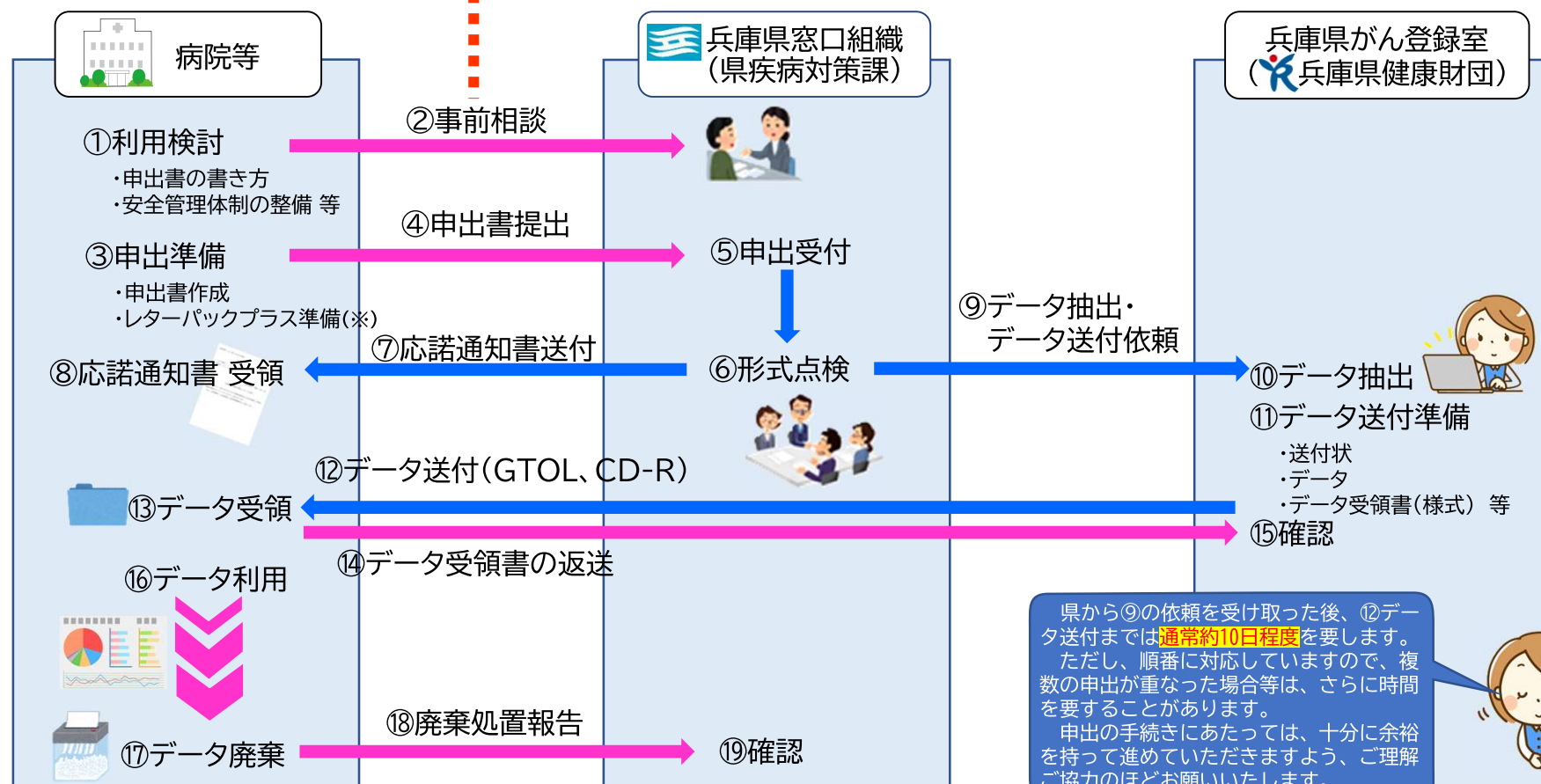
「GTOL利用マニュアル」の簡易版です。
GUIツールのインストールから届出完了確認まで、
届出に関するGTOLの基本操作方法、注意点等を
まとめて記載しています。



10 全国がん登録情報の提供について（法第20条関係）

2016～2023年診断症例について
2023年12月31日時点の生死情報の提供が可能(2026年8月現在)

各病院等が院内がん登録やがんに係る調査研究を行うため、自施設が届け出たデータに、予後情報(生死情報)が付与されたデータの提供を受けることが可能です。＜要申出＞



※GTOLでファイルの受け取りが可能な場合は不要です。

県から⑨の依頼を受け取った後、⑫データ送付までは**通常約10日程度**を要します。ただし、順番に対応していますので、複数の申出が重なった場合等は、さらに時間を要することがあります。申出の手続きにあたっては、十分に余裕を持って進めていただきますよう、ご理解ご協力のほどお願いいたします。



がん情報の利用にあたっては、**個人情報保護に係る安全管理措置を講じていることが前提**となります。また、提供データの利用方法や保管期間等についても遵守事項があります。全国がん登録情報の提供依頼申出や事前相談等、制度に関することは、県疾病対策課までお問い合わせください。

引き続き、

兵庫県がん登録室からのお知らせ

～届出実務編(1)【よくある間違い・Q&A】～

をご覧ください

～受講後はアンケートにご協力ください～



←アンケートはこちらから



https://apply.e-tumo.jp/pref-hyogo-u/offer/offerList_detail?tempSeq=6043

回答は施設ごとではなく、
参加されたすべての方から
お一人様1回答のご協力を
お願いいたします。

兵庫県がん登録室
(公益財団法人兵庫県健康財団内)